

くらしの目線で市政を変える

こんにちは
日本共産党

市会議員
西野さち子です



危険
環境破壊
ムダづかい

焼却灰溶融施設はただちに廃止を!!



事故の状況を調査する共産党市会議員団のみなさん

焼却灰溶融施設は10月12日に6回目の事故を起こしました。2号炉でのトラブルと職員がやけどをするという人身事故です。ところが、順調に試運転が続いているはずの1号炉でも同じ事故が11月1日に起こっていたのです。今回は負傷者は出ませんでした。1日の夜にガスが止まり、一旦溶融炉の火が消え、3日に再び灰が投入されました。日本共産党に告発が寄せられて明らかになったものです。

日本共産党市会議員団は、現地視察をして、2つの事故を確認しました。どこまでも事故を繰り返す焼却灰溶融炉は、完成から2年近く経ってもまだ、

共産党市議団への内部告発で発覚

焼却灰溶融炉が10月・11月連続事故!!

試運転さえできない状況です。住友重機械工業の巨大な実験炉となっている施設は、もういりません!返品して、無駄使いの施設はやめましょう!

中村市長実現へダッシュ!!



2012年春 醍醐駅前
市長選挙 中村さんが訴え

くらし・医療・教育・福祉... 切実な願い、要求が次々と

来年度の予算編成に向けて、日本共産党市会議員団の予算要求書案ができましたので、市民のみなさんのご意見を聞こうと、予算要求懇談会を開きました。団長と幹事長の報告の後、2つの分散会に分かれて、意見交流を行いました。

敬老乗車証の負担増や買い物難民問題、保育のプール制についての提案、脱原発問題、小中学校のマンモス校問題や公契約、生活保護問題など、いろいろな分野からの意見や提案が出されて、時間が足りないくらいでした。

そして、市長が変われば、願い実現に大きな前進がつかれる。市長を変えよう!と締めくくられました。



市政刷新

雨が心配された11月6日の夕方、中村和雄弁護士が醍醐地域の皆さんの前で、街頭宣伝を行いました。

地元からは「年間16億円以上の経費がかかる焼却灰溶融炉を中止するために中村和雄さんを市長にしましょう!」「地域の商店街はシャッターが下りたままのところが多い。中小業者支援を進める中村和雄さんを応援します!」と力強い訴えがありました。

中村和雄さんは「焼却灰溶融炉は中止します。国保の値下げ、公契約条例で下請け業者が泣かない京都市を作ります。地域経済の循環と底上げ、そのための市民参加が必要です。京都から新しい日本を始めましょう!」と訴えました。